



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月2日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社T&K TOKA
コード番号 4636 URL <http://www.tk-toka.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 至克
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部本部長 (氏名) 北條 実 (TEL) 03-3963-0511
四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	23,520	0.8	1,178	△2.1	1,492	8.8	1,055	10.0
29年3月期第2四半期	23,332	1.2	1,203	3.6	1,372	△11.7	959	△11.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,217百万円(-%) 29年3月期第2四半期 △759百万円(△166.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	44.95	44.71
29年3月期第2四半期	38.78	38.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	60,492	44,150	72.3
29年3月期	60,021	43,227	71.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 43,763百万円 29年3月期 42,846百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.50	—	13.50	22.00
30年3月期	—	17.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 9円00銭 記念配当 4円50銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,100	2.2	2,600	7.1	3,500	10.2	2,660	△17.0	113.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	25,055,440株	29年3月期	25,023,140株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,550,004株	29年3月期	1,550,004株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	23,487,622株	29年3月期2Q	24,751,541株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、わが国経済は政府や日本銀行の各種政策の効果により企業収益、雇用情勢、所得環境などの改善が続くなか、個人消費も緩やかに持ち直し、景気も緩やかな回復基調が続きました。また、アジア地域につきましては、中国では各種政策の効果により景気は持ち直しの動きがみられ、当面はこの動きが続くものと見込まれております。その他アジア地域についての景気も持ち直しの動きがみられました。

印刷インキの需要先であります印刷業界におきましては、オンデマンド印刷、デジタル化の台頭、少子化の影響により、出版など商業印刷は縮小傾向にあり、流通する印刷物は伸び悩み、引き続き厳しい状況が続きました。また、中国における印刷需要も減速傾向で推移しております。

特殊UVインキの関係する液晶パネル関連市場は、パネルメーカーは稼働を維持したものの、大型液晶パネル価格は、需要の陰りを受け値下がりしております。

このような経営環境の中で、当社の経営理念でありますT&K (Technology and Kindness=技術と真心) の精神に則り、ユーザーニーズに耳を傾け、ユーザーの真に役立つ製品の開発・供給に注力し、よりきめ細かいサービスに努めてまいりました。

この結果、当第2四半期の当連結累計期間の売上高は、平版インキ及び特殊UVインキの販売が減少したものの、一般UVインキ及びその他インキの販売が増加したことにより、売上高は235億20百万円（前年同期比0.8%増）となりました。利益面におきましては販売費及び一般管理費の増加により営業利益は11億78百万円（前年同期比2.1%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法による投資利益2億25百万円、法人税等3億51百万円を計上したことにより、10億55百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高及び営業利益はセグメント間の内部取引消去前の金額によっております。

① 印刷インキ

売上高は235億17百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益（営業利益）は11億70百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

② その他

売上高は25百万円（前年同期比2.3%減）、セグメント利益（営業利益）は3百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産については、前連結会計年度末に比べて4億71百万円増加し、604億92百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて有形固定資産が7億63百万円、受取手形及び売掛金が5億15百万円増加したものの、現金及び預金が11億59百万円減少したことが主な要因であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて4億51百万円減少し、163億42百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて流動負債（その他）が4億18百万円、長期借入金が1億64百万円減少したものの、固定負債（その他）が2億36百万円増加したことが主な要因であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて9億23百万円増加し、441億50百万円となりました。これは、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が7億38百万円、その他有価証券評価差額金が1億68百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において、平成29年5月9日に公表いたしました「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社北陸印刷資材センターの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,077	5,917
受取手形及び売掛金	15,561	16,076
有価証券	0	0
商品及び製品	3,584	3,576
仕掛品	448	409
原材料及び貯蔵品	2,213	2,151
その他	645	565
貸倒引当金	△77	△72
流動資産合計	29,452	28,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,434	22,297
機械装置及び運搬具	16,594	16,790
土地	6,916	6,954
その他	5,476	4,933
減価償却累計額	△27,810	△28,601
有形固定資産合計	21,610	22,374
無形固定資産		
のれん	—	8
その他	221	201
無形固定資産合計	221	210
投資その他の資産		
投資有価証券	8,098	8,546
退職給付に係る資産	79	129
その他	575	623
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	8,737	9,284
固定資産合計	30,569	31,868
資産合計	60,021	60,492

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,177	7,253
電子記録債務	2,448	2,398
短期借入金	1,202	1,164
1年内返済予定の長期借入金	329	329
1年内償還予定の社債	7	7
未払法人税等	415	289
賞与引当金	662	676
その他	1,608	1,189
流動負債合計	13,850	13,308
固定負債		
社債	8	4
長期借入金	1,291	1,126
退職給付に係る負債	584	630
その他の引当金	42	18
資産除去債務	107	107
その他	910	1,146
固定負債合計	2,943	3,033
負債合計	16,794	16,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,064	2,080
資本剰余金	2,064	2,079
利益剰余金	40,824	41,563
自己株式	△1,383	△1,383
株主資本合計	43,569	44,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	933	1,102
為替換算調整勘定	△1,110	△1,205
退職給付に係る調整累計額	△547	△473
その他の包括利益累計額合計	△723	△576
新株予約権	95	93
非支配株主持分	285	293
純資産合計	43,227	44,150
負債純資産合計	60,021	60,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	23,332	23,520
売上原価	18,719	18,769
売上総利益	4,613	4,751
販売費及び一般管理費	3,409	3,573
営業利益	1,203	1,178
営業外収益		
受取利息	20	24
受取配当金	43	46
持分法による投資利益	281	225
金利スワップ評価益	—	1
その他	76	59
営業外収益合計	422	356
営業外費用		
支払利息	17	11
為替差損	68	25
租税公課	161	—
金利スワップ評価損	0	—
その他	7	4
営業外費用合計	254	42
経常利益	1,372	1,492
特別利益		
固定資産売却益	2	4
国庫補助金	—	17
その他	—	0
特別利益合計	2	22
特別損失		
固定資産売却損	1	1
固定資産除却損	28	9
投資有価証券評価損	—	24
為替差損	142	46
その他	1	—
特別損失合計	174	82
税金等調整前四半期純利益	1,199	1,432
法人税等	237	351
四半期純利益	961	1,081
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	959	1,055

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	961	1,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150	168
為替換算調整勘定	△1,008	△62
退職給付に係る調整額	82	74
持分法適用会社に対する持分相当額	△945	△44
その他の包括利益合計	△1,721	136
四半期包括利益	△759	1,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△738	1,202
非支配株主に係る四半期包括利益	△21	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、譲渡制限付株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ8百万円増加するとともに、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ7百万円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が2,080百万円、資本剰余金が2,079百万円となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	印刷インキ		
売上高			
外部顧客への売上高	23,328	4	23,332
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	21	21
計	23,328	25	23,354
セグメント利益	1,194	4	1,199

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,194
「その他」の区分の利益	4
セグメント間取引消去	3
四半期連結損益計算書の営業利益	1,203

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	印刷インキ		
売上高			
外部顧客への売上高	23,517	3	23,520
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	21	21
計	23,517	25	23,542
セグメント利益	1,170	3	1,174

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,170
「その他」の区分の利益	3
セグメント間取引消去	3
四半期連結損益計算書の営業利益	1,178

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

印刷インキ事業において、第1四半期連結会計期間から株式会社北陸印刷資材センターの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては9百万円であります。